

◆第2部 分野別施策の実施状況

第2節 環境情報の収集・提供

1 科学的調査研究と技術開発の推進

(1) 環境分野の調査研究

県では、衛生環境研究センターを中心として、大気汚染や水質汚濁等について、監視・調査等を行うほか、他の公設試験研究機関と協力して環境分野の

調査研究を進めています。環境分野の調査研究は、対象となる範囲が広く、また短期間では成果を出しにくいことから長期的な視点で行う必要があります。

表6-2-1 環境分野の調査研究

①衛生環境研究センター【環境政策課】 大気や河川・湖沼・海域および地下水等の環境汚染の発生や拡大を防止するための測定や調査研究、環境関連技術の開発	
○微小粒子状物質（PM2.5）の環境中の挙動と発生源の寄与に関する研究 【平成26～30年度】	大陸からの越境大気汚染が考えられるPM2.5の成分調査を実施し、高濃度原因を明らかにするとともに地域に応じたPM2.5対策に役立てます。
○福井県におけるオキシダント高濃度予測手法の構築 【平成27～30年度】	福井県独自のオキシダント高濃度予測手法を確立し、光化学スモッグによる健康被害の防止に役立てます。
○全国から見た福井県の酸性雨の特徴とその要因に関する研究 【平成28～29年度】	降水中のイオン成分について福井県と全国のデータを比較解析し、県内の酸性雨の特徴を明らかにするとともに酸性度を高める要因を究明します。
○福井県におけるリン酸エステル系難燃剤の実態把握と処理技術に関する研究 【平成29～31年度】	環境や健康への影響が懸念されるリン酸エステル系難燃剤について、水環境中の濃度を把握するとともに有効な排水処理技術を明らかにします。
②工業技術センター【地域産業・技術振興課】 県内産業の活性化に向けた様々な分野の研究開発、環境関連技術の開発、環境負荷の少ない雪対策技術や自然との共生に対応した建設技術の研究開発	
○眼鏡枠の加工技術を活用した高効率モータの開発 【平成30～31年度】	眼鏡枠の曲げ加工技術を活用した省エネモーターを製造するためのコイルの加工機を開発します。
○省エネを実現する国産小型航空機用薄層炭素繊維基材の量産技術開発 【平成30～31年度】	小型航空機を軽量化することで燃費を向上させる研究開発を、宇宙航空研究開発機構（JAXA）らと共同で行います。
○赤外線LEDを活用した路面凍結監視装置の開発 【平成29～31年度】	赤外線LED投光器を用い、公共工事用の廉価なセンサ機能付き路面凍結監視装置を開発します。

③農業試験場【生産振興課】 化学合成農薬や化学肥料の使用量を抑えたり、再生可能エネルギーを活用した環境にやさしい農産物の生産・供給のための研究開発	
○生き物にやさしい“ポストこしひかり”特別栽培技術の確立 【平成26年度～29年度】	環境にやさしい米づくりをさらに発展させるため、里山の象徴である赤トンボやホタルなどの生き物にやさしい栽培技術確立し、特別栽培や有機栽培米の生産拡大を図ります。
○水田でできるブドウの減農薬・減化学肥料のポット栽培技術の開発 【平成27年度～30年度】	水田土壌の影響を受けないコンテナを用いた栽培技術の開発による減農薬・減化学肥料栽培技術を開発します。
○成苗等を取り入れた有機除草技術体系の確立 【平成28年度】	水稲の無農薬栽培無化学肥料栽培における、除草機による除草作業がしやすい成苗の育苗方法と抑草効果を検証し、除草技術体系を確立しました。
○地中熱利用システムによる周年栽培技術の開発 【平成28年度～29年度】	大規模施設園芸の新たな品目としてキュウリを取り上げ、暖房費を削減できる地中熱利用システムを使った周年栽培技術を開発します。
○土壌還元消毒用資材の検証 【平成29年度】	安全安心な低濃度エタノールによる土壌還元消毒法のトマトの青枯病、センチュウに対する防除効果を検証します。
○アレンジマムの大規模園芸の高品質周年栽培技術 【平成29年度～31年度】	施設費が安価な園芸ハウスで栽培でき、国内需要が高まっているアレンジマムについて、暖房費を削減できる地中熱利用システムを使った周年栽培技術を開発します。
④総合グリーンセンター【森づくり課】 多様な森林の育成や保護管理技術など環境関連技術の研究開発	
○人工交配による県産無花粉スギの開発 【平成23年度～29年度】	花粉症軽減対策として、県内精英樹と県外無花粉スギとの人工交配による県産無花粉スギを作出します。
⑤若狭湾エネルギー研究センター【電源地域振興課】 バイオマスを用いた湖沼の水質浄化、有用物質生産や水素製造技術等に関する研究開発	
○バイオ技術を用いた汽水湖沼の浄化 【平成27年度～平成28年度】	イオン加速器による品種改良で作り出した耐塩性の陸生植物や高性能微生物を用いて、汽水を含む水域の富栄養化物質を吸収する技術の開発を行います。
○農林水産廃棄物の加熱分解による有用物質の生産 【平成27年度～平成28年度】	木質バイオマス、もみ殻、海藻など広範囲の農林水産廃棄物を加熱分解により減容するとともに、エネルギーや化学原料等の資源として活用する技術の開発を行います。
○水素製造等に関する新技術・システムの調査研究 【平成28年度～平成32年度】	加速器からのイオンビーム照射や太陽炉による酸化還元技術を活用し、環境に対する負荷が低い水素の製造・輸送・貯蔵に関する先進技術の調査研究を行います。

◆第2部 分野別施策の実施状況

(2) 産学官による研究開発支援【電源地域振興課、地域産業・技術振興課】

県では、嶺南企業等が、原子力・エネルギー分野をはじめ、地域産業の活性化や環境分野に関連して新たに取り組む研究開発を支援しています（公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターの「嶺南地域新産業創出モデル事業」による支援）。

○嶺南地域新産業創出モデル事業補助金

- 野生動物による農作物被害の減少を図るため、小水力発電を利用した音波発生装置を開発
- キトサン成長促進剤を使った屋上緑化ユニット専用の苔補修材を開発 【平成28年度】
- 土壌に含まれる自然由来の重金属（有害イオン等）を廃水から除去する吸着シートを開発 【平成28年度～29年度】
- 多機能な大気腐食モニタリング微小電流計測記録装置の開発 【平成29年度】

- 自動洗浄機能を付加した安価な新型雨水貯留タンクの開発 【平成29年度～】

また、公募型の研究開発費を活用して企業や大学が行うヒートパイプの研究開発に、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターが協力しています。

○ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業 【NEDO】

- 気泡駆動型循環式ヒートパイプによる無動力地中熱源活用技術の開発 【平成23年度～24年度】
県内外の企業、大学、県が参画する研究開発および事業化を支援しています。
- 地中熱を利用する低コスト冷暖房システムの開発 【平成29年度】

(3) 環境関連産業に対する支援【産業政策課、企業誘致課、地域産業・技術振興課】

県では、融資および補助などにより、環境関連ビジネス分野への新規参入や事業拡大に向けた取組みに対して、支援しています。

また、産業支援機関等と連携し、技術開発や経営支援施策等に関する情報提供や相談・助言などを行っています。

表6-2-2 環境関連産業に対する主な支援制度

支 援 制 度	問い合わせ先
○企業立地促進補助金・企業立地促進資金融資 製造業、試験研究所、本社機能等を対象として、県や市町の誘致企業で、投下固定資産額や新規雇用者数等について一定の要件を充足する場合に、補助や融資を行っています。	県企業誘致課 企業立地推進グループ 電話 0776-20-0375
○専門家派遣事業 省エネルギーやコストダウンなど中小企業の様々な経営課題を解決するため、専門家を派遣し、診断等を行います。 派遣費用の2分の1を負担いただきます（派遣費用の2分の1は支援センターが負担）。	公益財団法人 ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 電話 0776-67-7400
○将来のふくいを牽引する技術開発支援事業補助金 この補助金は、県内中小企業が、大学・公設試等や企業、金融機関と連携して行う技術開発等を支援し、県内ものづくり企業等の技術力の底上げや新産業の創出を図ることを目的とします。 【対象事業】 地域経済牽引型：地域経済に大きな波及効果が見込める研究開発等 小規模技術開発支援型：企業の優位技術の早期事業化に資する研究開発等 【対象企業】 県内中小企業または県内中小企業を代表とする企業グループ（地域経済牽引型は、ユーザーとなる大企業を加えることが要件）で、ふくいオープンイノベーション推進機構の設置目的、事業に賛同するもの 【事業期間】 地域経済牽引型：2年以内、小規模技術開発支援型：1年 【補助率】 2/3以内 【補助限度額】 地域経済牽引型 3,000万円/件（1年目2,000万円、2年目1,000万円） 小規模技術開発支援型 500万円/件（1年） 【補助対象経費】 消耗品費、機械装置費等の他、直接人件費、販路開拓費	県地域産業・技術振興課 電話 0776-20-0374

(4) 県民・団体・企業等との連携の強化【環境政策課】

①環境ふくい推進協議会

環境保全活動を推進していくためには、県民、団体、事業者、行政がお互いに協力し合い、取り組んでいくことが重要です。

このため、県では、県民、団体、企業で構成する環境保全ネットワーク「環境ふくい推進協議会」の運営を支援し、情報紙の発行やシンポジウムの開催などを通じ、環境保全に関する意識の啓発を図ってきました。

環境ふくい推進協議会は、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動を実践することを目的として、平成6年10月に設立された団体です。協議会では、環境保全活動の輪を広げるための様々な

事業を展開しています。

環境ふくい推進協議会会員数	
(平成30年1月末現在)	
企業会員	228社
団体会員	116団体
個人会員	1,010人

また、環境ふくい推進協議会では、県内における企業、団体、行政等の環境に関する活動や情報の共有を図るため、専用のホームページを開設しています。このページでは、各主体が環境に関するイベント情報やお知らせを自由に掲載、閲覧することができ、情報共有の場として活用しています。

分野別施策の実施状況

表6-2-3 環境ふくい推進協議会の主な取組み

主な取組み	平成29年度	
環境保全活動促進協働事業	1 協議会会長表彰 2 ふくいまるごと環境学び舎 3 環境マネジメント推進事業	4 市町環境連携事業 5 こどもエコクラブ活動促進事業 6 SATOYAMA国内ネットワーク推進
普及広報事業	1 情報誌発行业「みんなのかんきょう」 2 ホームページによる普及広報 3 メールマガジンの配信による普及広報 4 環境教育の基礎となるガイドブックの作成 5 クールシェア推進事業 6 各市町環境フェアにおける普及啓発	
県補助事業	1 環境アドバイザー派遣事業 2 ものを大切にする社会づくり事業	
団体助成事業	環境ふくい未来創造事業	



(URL <http://www.kankyou-fukui.jp/kankyou-fukui/skg/>)

図6-2-4 環境ふくい推進協議会ホームページ画面

横断的・基盤的な施策の推進

◆第2部 分野別施策の実施状況

(5) 環境に関する表彰

県では、地域で様々な環境活動を行っている個人や団体の努力に報いるため、また、今後の活動の励みとしていただくため、積極的に各種表彰制度に推薦しています。また、応募形式による表彰制度につ

いても、対象者等に情報提供などを行っています。
平成28年度において表彰を受けた個人や団体等は、表6-2-5のとおりです。

表6-2-5 環境に関して表彰を受けた個人・団体・企業・学校（平成28年度）

表彰名	目的等	表彰者	被表彰者
環境美化教育優良校等表彰	環境美化に独創的、熱心に取組み、食品容器の散乱防止やりサイクルの実践教育に優秀な成果のあった小中学校を表彰	社団法人食品容器環境美化協会会長	【優良校】 勝山市立勝山中部中学校（勝山市）
環境ふくい推進協議会会長表彰	環境保全活動に関し、地道にたゆまぬ努力を続けている個人、団体、学校、企業で、その活動が賞賛に値する者を表彰	環境ふくい推進協議会会長	【個人の部】 中屋 弘（福井市） 橋詰 武（敦賀市） 【団体の部】 一般社団法人 ガールスカウト 福井県連盟 第17団（坂井市） 越前町子ども会育成連絡協議会 織田支部（越前町） つるが環境みらいネットワーク（敦賀市） 菜の花公夢典ひがしあご（福井市） 【学校の部】 小浜市立国富小学校（小浜市） 勝山市立野向小学校（勝山市） 【企業の部】 株式会社 サンキュー（福井市）
第15回ざぶん賞	生命の源である、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙を小中学生から募集し、すぐれた作品について表彰	ざぶん賞実行委員会会長	【福井県知事賞】 西村 咲乃（坂井市立平章小学校）
愛鳥週間用ポスター原画コンクール表彰	ポスターの制作過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるとともに、愛鳥週間の普及啓発を図るため優秀作品を表彰	福井県知事	【知事賞】 高橋 歩未（若狭町立みそみ小学校） 野原菜々子（越前市武生第三中学校）

2 環境情報の整備と提供【環境政策課】

県民や事業者の環境への関心を高め、環境への負荷の低減に向けた取組みを促進していくためには、環境に関する幅広い情報をわかりやすく、迅速に提供することが重要です。県では、インターネットや情報紙など様々な媒体を通じて、環境情報を提供しています。

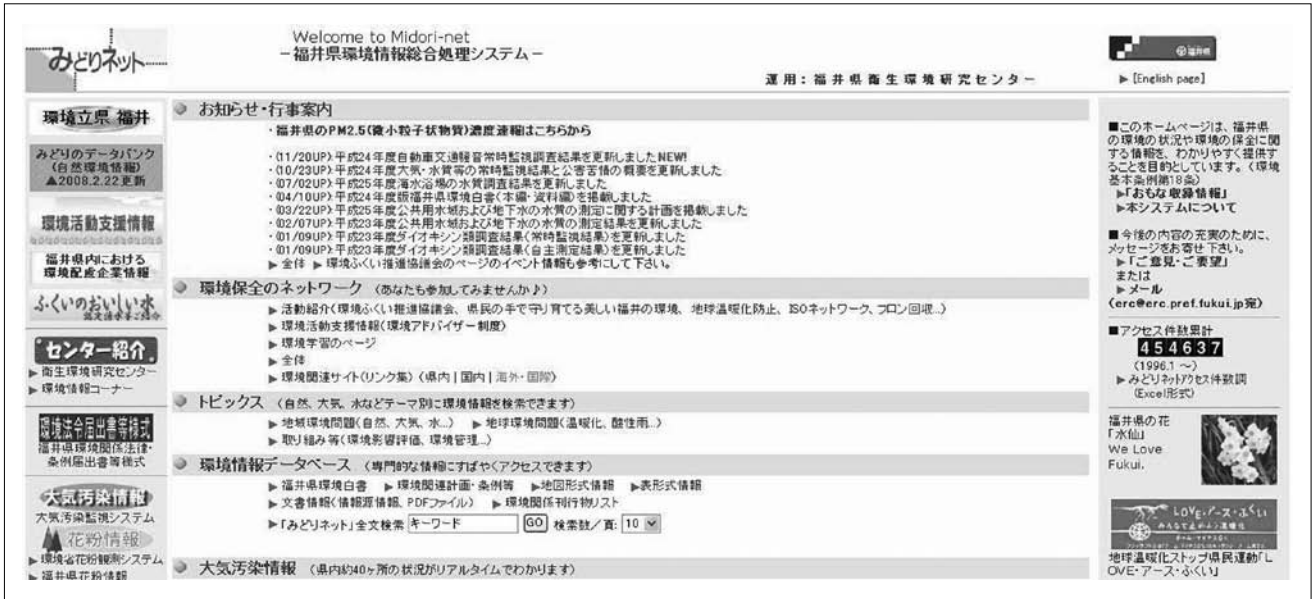
このシステムは、大気や水質等の環境状況や自然環境等の情報をデータベース化し、地図や表などによりビジュアルに表示するもので、インターネットのホームページ「みどりネット」から利用できます。
みどりネットのアクセス件数（ページビュー）は、次のとおりです。

(1) 「みどりネット」の整備、運用

県では、各種の環境情報をデータベース化し、行政内部での活用にとどまらず、広く県民に提供する「環境情報総合処理システム」を平成12年3月に整備しました。

表6-2-6 みどりネットのアクセス件数

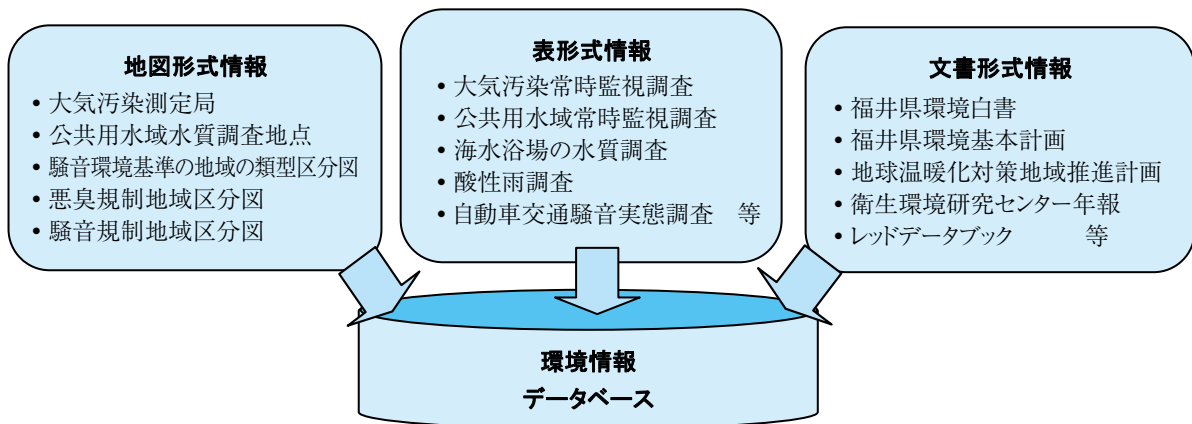
	26年度	27年度	28年度
アクセス件数	4,523,537	4,495,990	4,272,915



(URL <http://www.erc.pref.fukui.jp/>)

図6-2-7 環境情報総合処理システム（みどりネット）画面

1 環境情報のデータベース化



2 環境情報のビジュアル化

データベース化された多様な情報を、地図や表等によりビジュアルに表示します。



図6-2-8 環境情報総合処理システムの概要

分野別施策の
実施状況

横断的・基盤的な
施策の推進

◆第2部 分野別施策の実施状況

(2) 環境月間中のイベント情報提供【環境政策課】

環境基本法に定められた6月5日の「環境の日」を中心とする6月の1か月間は、「環境月間」とされています。県においても、県民の環境問題への関心と理解を深め、環境の保全に関する活動を行う機

会とするため、6月を中心に様々な行事を実施するとともに、環境に関する行事を取りまとめ、ホームページ等で紹介しています。

表6-2-9 平成29年度「環境月間」の主な実施行事 テーマ「県民の手で守り育てる福井の環境」

【県民参加行事】

行事名	実施主体(所管)	内 容	実施日	実施場所
カー・セーブデーの実施	交通まちづくり課	公共交通機関や自転車の利用促進とCO ₂ (二酸化炭素)の排出量削減のため、過度な車の利用を抑えるカー・セーブデーを実施する。	毎週金曜日	県内全域
クールビズの実施	環境政策課	冷房28℃と軽装(ノー上着、ノーネクタイ)勤務を実施する。	5月22日(月)～9月30日(土)	県、市町、賛同事業所
クリーンアップふくい大作戦	県、市町、環境ふくい推進協議会、(社)あすの福井県を創る協会等	統一行動期間に各市町が設定する拠点地区や居住地周辺、工場・事業場周辺等の一般地区において清掃、草刈、植栽、花だんづくりを行うなど、県民、各種団体、行政が一体となって美化活動を実施する。	統一行動期間 6月4日(日)～6月11日(日) (季節ごとに年4回実施)	県内全域
第23回全国花のまちづくり福井大会第7回みどりと花の県民運動大会	みどりと花の県民運動大会および第23回全国花のまちづくり福井大会実行委員会	第60回全国植樹祭を契機に展開している「緑と花の県民運動」を推進するため、「みどりと花の県民運動大会」を実施。これに合わせ、平成30年に開催される福井しあわせ元気国体・障スポに向けた花いっぱい運動の機運を高めるため、「全国花のまちづくり大会」を開催し、緑と花に関する功労者の表彰や、緑や花に親しむ様々な体験型イベントを実施する。	6月3日(土) 6月4日(日)	福井駅周辺 福井中央公園 総合グリーンセンター 福井総合植物園 プラントピア
緑の教室	総合グリーンセンター	身近な緑づくりのための基礎知識が学べる講座を開催する。	6月15日(木)	総合グリーンセンター
花づくり講座	総合グリーンセンター	花を育てるための基礎知識が学べる講座を開催する。	6月24日(土) 6月25日(日)	会陰芸研究センター 総合グリーンセンター
花のスクールステイ	総合グリーンセンター	花と緑にあふれるふるさとづくり活動として、小中学校等で子ども達が種から花苗を育てる。	5月中旬～7月中旬	県内小中学校等
環境科学体験教室	衛生環境研究センター	環境科学に関する実験や体験を通して、環境に関する意識の向上を図る。	6月10日(土)	文書館

行事名	実施主体(所管)	内容	実施日	実施場所
天体観望会	自然保護センター	天体観望や星座の学習を通して、自然環境についての理解を深める。	6月毎週土曜日	自然保護センター
自然観察会	自然保護センター	当センター周辺での観察会を通して、自然環境についての理解を深める。	6月毎週日曜日	自然保護センター
三方五湖自然教室	海浜自然センター	県域絶滅危種の観察会や外来生物の生態調査を通して、自然環境についての理解を深める。	6月3日(土)	海浜自然センター周辺
海のふれあい教室	海浜自然センター	食見海岸の磯場で生きものの種類や数、大きさ等を観察する講座を実施する。	6月3日(土)	食見海岸
スノーケリング指導者養成講座	海浜自然センター	スノーケリング指導のポイントおよび安全管理の方法を学ぶ講座を実施する。	6月18日(日)	食見海岸周辺

分
野
別
施
策
の
実
施
状
況

【普及啓発事業】

行事名	実施主体(所管)	内容	実施日	実施場所
広報活動	広報課 環境政策課	新聞、テレビ、各種広報紙、ポスター等で月間の趣旨や、環境美化に対するPRを実施する。	環境月間中	県内全域
環境意識啓発パネル展	福井健康福祉センター	環境問題に関するパネル等を展示し、意識の高揚、啓発を行う。	環境月間中	福井健康福祉センター
環境を大切に	県立若狭図書学習センター	近年刊行された環境に関する本を約40冊程度集めたコーナーを設け、県民の皆様が環境について考えていただけるよう貸出に供する。	6月1日(木)～ 6月30日(金)	県立若狭図書学習センター
環境保全の調査研究展示	衛生環境研究センター	環境保全の調査研究をパネルやポスターで展示し、環境保全への取組みの周知、意識啓発を図る。	6月10日(土) ～6月16日(金)	県立図書館

横
断
的
・
基
盤
的
な
施
策
の
推
進

◆第2部 分野別施策の実施状況

【監視・指導強化】

行事名	実施主体(所管)	内容	実施日	実施場所
環境パトロール	環境政策課 各健康福祉センター	ばい煙発生施設、特定施設等を設置する工場・事業場の立入検査を行う。	環境月間中	県内全域
	循環社会推進課 各健康福祉センター	工場・事業場、自然公園、廃棄物処理施設、畜産施設、道路、河川、海岸等のパトロールを実施する。	環境月間中	県内全域
	自然環境課	自然公園内およびその周辺の違法行為等の監視を行う。	環境月間中	各国立公園・ 国定公園等
スカイパトロール	循環社会推進課 県警生活環境課	県警ヘリ「くずりゅう」による空から廃棄物の不法投棄等発見のための監視パトロールを実施する。	環境月間中	県内全域
環境犯罪取締り	県警本部生活環境課 県下各警察署	廃棄物の不法投棄、野外焼却事犯等の環境事犯の取締りを実施する。	年間	県内全域
大きさにびっくり！ 湿地のギャングウシガエル 大作戦！！	海浜自然センター	三方湖周辺での繁殖が著しい特定外来種「ウシガエル」の駆除体験を通して、環境保全について考えます。	6月11日(土)	三方湖周辺
合同路上検査	循環社会推進課	滋賀県と合同による産廃積載車両の路上検査を実施する。	6月12日(月) 6月29日(木)	福井県、滋賀県
		石川県と合同による産廃積載車両の路上検査を実施する。	6月14日(水) 7月10日(月)	福井県、石川県
		岐阜県と合同による産廃積載車両の路上検査を実施する。	11月1日(水)	福井県、岐阜県
		福井県税事務所と合同による産廃積載車両の路上検査を実施する。	10月18日(水)	福井県

(3) 刊行物

【環境政策課、循環社会推進課、自然環境課】

水、大気、自然、廃棄物等の様々な環境の課題や、県の取組み等について、情報紙やパンフレット等の刊行物の作成・配布を行い、環境に関する情報

を提供しています。また、これら刊行物の一部は、県や環境ふくい推進協議会のホームページ、みどりネットにも掲載しています。

表6-2-10 平成28年度 環境関連刊行物

刊行物の名称	発行状況	頁数	発行部数	備考
みんなのかんきょう	年1回69号	20	3,000	環境ふくい推進協議会情報誌
平成28年度版 環境白書	年1回	150	700	
平成28年度版 環境白書(資料編)	年1回	110	200	
平成27年度 公共用水域および地下水の水質の測定結果報告書	年1回	106	150	
平成29年度 公共用水域および地下水の水質の測定に関する計画	年1回	54	150	
福井県認定リサイクル製品パンフレット	年1回	12	1,900	
平成27年度衛生環境研究センター年報	年1回	128	350	
衛環研だより第19号、第20号	年2回	4	Web配信	
平成28年度福井県鳥獣保護区等位置図	年刊	図1枚	2,400	
ナチュラルリスト	年3回78～80号	12	2,000 2,000 2,000	自然保護普及啓発誌
平成27年度年報(福井県自然保護センター)	年1回	33	600	福井県自然保護センター事業概要
海遊(活動の記録)第17号	年1回	42	HPで公開	福井県海浜自然センター事業概要
自然保護センター・海浜自然センター行事案内	年1回	2	14,000	
平成29年度カレンダー	年1回	1枚	2,500	
福井県自然保護センター研究報告「キコニア第20巻」	年1回	41	550	
天体観測ガイド「秋」	随時	4	1,000	
自然保護センターリーフレット	随時	2	2,000	
「ふくいのおいしい水」パンフレット	随時	64	3,000	
福井県里山里海湖研究所リーフレット	随時	8	1,500	
福井県里山里海湖研究所年報2016	年1回	52	800	
福井ふるさと学びの森 紹介パンフレット	年1回	16	2,000	
生きもので感じる福井の季節	年1回	8	5,000	福井の生きもの歳時記体感事業紹介パンフレット
海浜自然センターパンフレット	随時	8	50,000	